

平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年4月12日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
 コード番号 3541 URL http://www.nousouken.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 及川 智正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 松尾 義清 TEL 073-497-7077
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の業績（平成28年9月1日～平成29年2月28日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	722	34.5	53	△34.5	53	△33.8	34	△32.6
28年8月期第2四半期	537	—	81	—	80	—	51	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	16.42	—
28年8月期第2四半期	28.86	—

- (注) 1. 当社は、第2四半期の業績開示を平成28年8月期から行っているため、平成28年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成28年2月26日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。平成28年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第2四半期	1,082	510	47.1	243.47
28年8月期	1,100	475	43.2	227.05

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 510百万円 28年8月期 475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 平成29年8月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成29年8月期の業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,560	30.6	170	8.6	169	4.0	109	1.9	52.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期2Q	2,095,500株	28年8月期	2,095,500株
② 期末自己株式数	29年8月期2Q	一株	28年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期2Q	2,095,500株	28年8月期2Q	1,770,000株

（注）当社は、平成28年2月26日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。平成28年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策や日銀の金融緩和策等の効果もあり、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら、米国大統領にトランプ氏が就任し、TPPからの離脱やNAFTA再交渉等の政策による影響及び中国経済の下振れにより、株式市場や為替相場が変動する等、先行きの不透明感が懸念されております。

当社の主たる事業領域である食品業界においては、中国産食品の安全性の問題や異物混入問題、食品偽装問題等、食の安心・安全に関する生活者の意識は引き続き高い状況にあります。

このような環境の下、当社は、農家の直売所事業に注力し、積極的にスーパーマーケット等の小売店(以下、「スーパー等」という)と交渉及び導入を進め、新規に導入いただいたスーパー等が増加し、平成29年2月28日時点で851店舗(前期末比+171店舗)まで拡大いたしました。スーパー等に対しては、関東地区や関西地区の店舗でのフェアや販促支援を強化し、より多くの農産物が販売できるよう努めてまいりました。また、登録生産者に対しては、相場情報やスーパー等の特売情報等を提供し、より多くの農産物を出荷していただけるよう努めてまいりました。その結果、農家の直売所事業による流通総額は3,291,470千円(前年同期比31.5%増)となりました。拡大しているスーパー等への農産物供給量確保のため、集荷場を関東地区や九州地区等に開設し、集荷場は前期末より4拠点増加し平成29年2月28日時点で61拠点、登録生産者は前期末より303名増加し平成29年2月28日時点で6,068名と拡大いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は722,528千円(前年同期比34.5%増)、営業利益53,621千円(前年同期比34.5%減)、経常利益は53,572千円(前年同期比33.8%減)、四半期純利益は34,417千円(前年同期比32.6%減)となりました。

なお、当社の事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、スーパー等との契約による取引別の売上高と売上総利益は、次のとおりであります。

(委託販売システム)

「委託販売システム」における売上高は548,052千円、売上総利益は546,693千円(売上総利益率99.8%)となりました。

(買取委託販売)

「買取委託販売」における売上高は131,748千円、売上総利益は30,879千円(売上総利益率23.4%)となりました。

(卸販売)

「卸販売」における売上高は42,727千円、売上総利益は11,014千円(売上総利益率25.8%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して18,013千円減少し、1,082,313千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ20,501千円減少し、1,012,992千円となりました。これは主に現金及び預金の減少5,689千円、売掛金の減少18,743千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2,488千円増加し、69,321千円となりました。これは主に有形固定資産の増加1,060千円、無形固定資産の増加1,415千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して52,430千円減少し、572,120千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ36,812千円減少し、499,709千円となりました。これは主に賞与引当金の増加7,812千円、未払法人税等の減少38,778千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ15,618千円減少し、72,411千円となりました。これは長期借入金の減少15,618千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して34,417千円増加し、510,193千円となりました。これは、四半期純利益34,417千円の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前事業年度末と比較して5,689千円減少し、720,490千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、16,673千円(前年同期は35,847千円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益53,572千円及び売上債権の減少18,743千円等による資金の増加が、法人税等の支払額56,950千円による資金の減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、6,394千円(前年同期は22,491千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,865千円及び無形固定資産の取得による支出4,370千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、15,968千円(前年同期は21,153千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出15,618千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月12日に発表いたしました平成29年8月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	726,179	720,490
売掛金	296,357	277,614
その他	13,689	17,483
貸倒引当金	△2,732	△2,595
流動資産合計	1,033,494	1,012,992
固定資産		
有形固定資産	3,417	4,478
無形固定資産	24,626	26,042
投資その他の資産	38,788	38,799
固定資産合計	66,832	69,321
資産合計	1,100,326	1,082,313
負債の部		
流動負債		
買掛金	344,906	341,051
短期借入金	350	-
1年内返済予定の長期借入金	31,236	31,236
未払金	70,243	71,059
未払法人税等	59,945	21,167
賞与引当金	8,722	16,534
その他	21,118	18,659
流動負債合計	536,521	499,709
固定負債		
長期借入金	88,029	72,411
固定負債合計	88,029	72,411
負債合計	624,550	572,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	199,216	199,216
資本剰余金	184,216	184,216
利益剰余金	92,343	126,760
株主資本合計	475,776	510,193
純資産合計	475,776	510,193
負債純資産合計	1,100,326	1,082,313

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	537,170	722,528
売上原価	74,283	133,940
売上総利益	462,887	588,587
販売費及び一般管理費	381,045	534,966
営業利益	81,842	53,621
営業外収益		
受取賃貸料	886	886
助成金収入	450	—
その他	44	208
営業外収益合計	1,381	1,094
営業外費用		
支払利息	1,562	390
賃貸費用	755	752
営業外費用合計	2,317	1,143
経常利益	80,906	53,572
税引前四半期純利益	80,906	53,572
法人税、住民税及び事業税	25,062	18,049
法人税等調整額	4,752	1,105
法人税等合計	29,815	19,155
四半期純利益	51,090	34,417

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	80,906	53,572
減価償却費	3,038	4,103
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△486	△617
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,027	7,812
受取利息	△35	△3
支払利息	1,562	390
売上債権の増減額(△は増加)	1,297	18,743
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10	27
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,829	△3,854
未払金の増減額(△は減少)	△17,405	443
未払費用の増減額(△は減少)	△1,875	1,157
その他	△10,589	△7,727
小計	37,543	74,046
利息の受取額	35	3
利息の支払額	△932	△426
法人税等の支払額	△799	△56,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,847	16,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△850	△1,865
無形固定資産の取得による支出	△21,461	△4,370
敷金及び保証金の差入による支出	△180	△159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,491	△6,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	15,600	—
短期借入金の返済による支出	△6,460	△350
長期借入れによる収入	132,000	—
長期借入金の返済による支出	△119,987	△15,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,153	△15,968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	34,509	△5,689
現金及び現金同等物の期首残高	297,576	726,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	332,085	720,490

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)

当社の報告セグメントは、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。